

お客様の安心は、 堅実な経営から。

時代に流されない安定した経営を心がけ、
安心してお取引いただける収益基盤の確立を図っています。



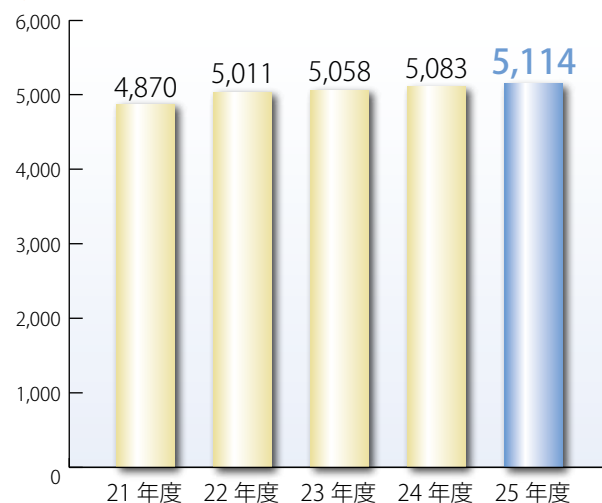
平成 25 年度の事業概況

平成 25 年度は、「地域密着型金融の深化」、「独自性のさらなる発揮」、「永続性のある経営の確立」を重点施策として活動いたしました。具体的には、事業者のみならずみなさまへの経営相談をはじめとしたコンサルティング機能の充実、きめ細かな営業活動と地域との関係強化や、お客様から信頼され、ご満足いただける金融サービスを提供できる人材の育成等に取組みました。

預金積金

信用金庫の特性を活かした地道できめ細かな営業活動を通して、ボーナス預金や定期積金を中心とした預金募集に取組みました結果、預金残高は対前期末比 30 億円増加して、5,114 億円となりました。

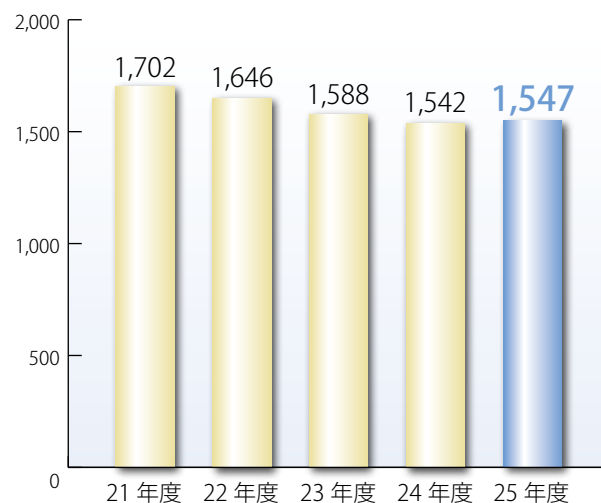
▶ 預金残高の推移 (単位：億円)



貸出金

お客様のニーズにお応えした事業資金や個人ローンの融資商品を取り揃えて積極的に取組みました結果、貸出金残高は対前期末比 5 億円増加し、1,547 億円となりました。また、「中小企業金融円滑化法」は終了しましたが、引き続きお取引先への真摯な対応と円滑な資金供給に努めました。

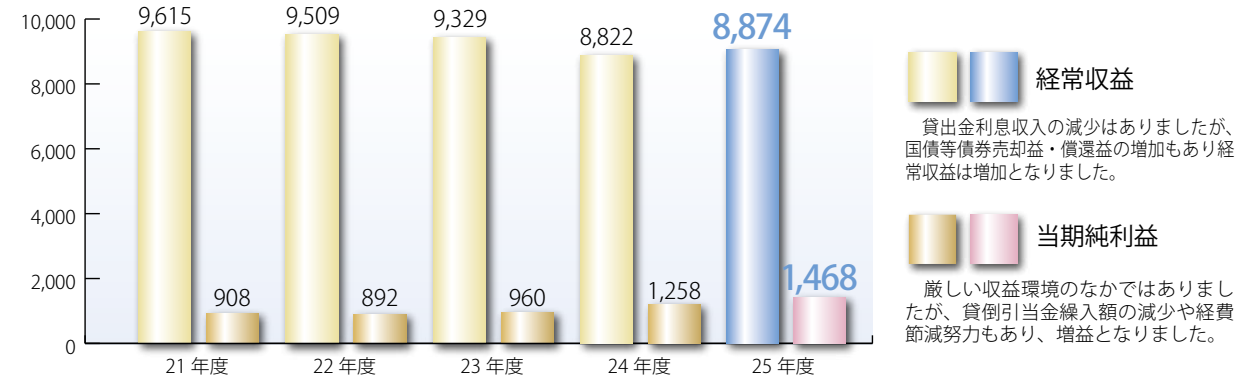
▶ 貸出金残高の推移 (単位：億円)



損 益

貸出金利回り低下により貸出金利息収入は減少しましたが、国債等債券売却益・償還益が増加し、貸倒引当金繰入額の減少や預金支払利息の減少、経費節減の努力もあり、当期純利益は、1,468 百万円を計上することができました。

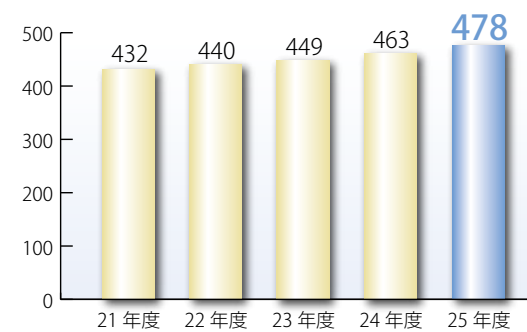
▶ 経常収益・当期純利益の推移 (単位：百万円)



自己資本

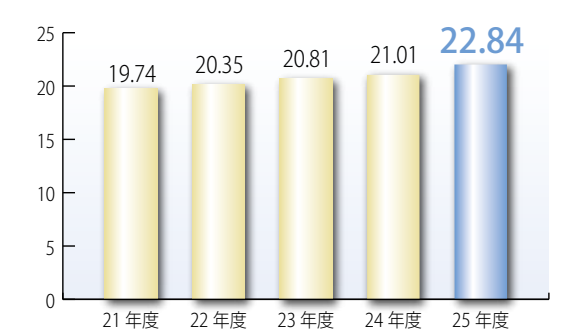
当金庫の健全性・安全性は引き続き高い水準を堅持しており、お客さまからの普通出資金や適正な内部留保等により自己資本比率は 22.84% となりました。今後も、堅実経営を基本として、一層強固な財務体質の構築を目指してまいります。

▶ 自己資本額の推移 (単位：億円)



平成 24 年度までは、自己資本額は「基本項目」及び「補完的項目」から構成されていましたが、平成 25 年度はコア資本に係る基礎項目とコア資本に係る調整項目で構成されています。(詳しくは、自己資本の充実の状況等の項をご参照下さい。)

▶ 自己資本比率の推移 (単位：%)



金融機関の健全性を示す重要な指標のひとつで、国内金融機関は 4% 以上が求められていますが、当金庫は基準を大きく上っており高い水準の健全性を維持しています。なお、平成 24 年度までは旧告示 (パーゼルⅡ) で、平成 25 年度は新告示 (パーゼルⅢ) にて算出しております。

主な経営指標の推移

(単位：百万円 %)

		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
利 益	経常収益	9,615	9,509	9,329	8,822	8,874
	業務純益	2,196	2,457	2,638	2,637	2,698
	経常利益	1,346	1,257	1,695	2,047	2,405
	当期純利益	908	892	960	1,258	1,468
残 高	出資総額	1,176	1,175	1,177	1,176	1,178
	出資総口数 (千口)	2,352	2,351	2,354	2,353	2,357
	純資産額	44,439	45,930	48,164	52,526	52,917
	総資産額	539,253	554,442	559,673	567,080	570,454
	預金積金残高	487,088	501,175	505,848	508,383	511,401
	貸出金残高	170,285	164,611	158,823	154,209	154,791
	有価証券残高	312,181	295,620	300,877	311,614	298,540
	単体自己資本比率	19.74	20.35	20.81	21.01	22.84
	出資配当率	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
	出資 1 口当たりの配当金 (円)	30	30	30	30	30
	役員数 (人)	15	15	14	15	15
	うち常勤役員数 (人)	10	9	9	10	10
	職員数 (人)	388	388	384	372	370
	会員数 (人)	32,547	32,712	32,835	32,952	33,124

(注) 総資産には債務保証見返勘定を含んでいます。